【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和5年2月16日(2023.2.16)

【国際公開番号】WO2022/003757
【出願番号】特願2022-533262(P2022-533262)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　3/46(2015.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　3/46

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月1日(2022.12.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の伝送経路のうち１つ以上の伝送経路を通じて、放送予定または放送中のコンテンツの種別に応じて設定されたテスト信号を受信する受信手段と、
前記受信手段により受信された前記テスト信号の状態に基づき前記１つ以上の伝送経路の状態を評価する評価手段と、
を備える情報処理装置。
【請求項２】
前記評価手段は、前記受信手段により受信された次に放送予定の前記コンテンツの種別に応じて設定された前記テスト信号の状態に基づき前記１つ以上の伝送経路の状態を評価する、
請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記テスト信号は音響信号であり、
前記評価手段は、前記テスト信号の音の高さに係る特徴量、前記テスト信号の音の大きさに係る特徴量、前記テスト信号の音色に係る特徴量のうち、少なくとも１つ以上に基づき前記１つ以上の伝送経路の状態を評価する、
請求項１又は請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記評価手段が評価した内容に基づいて、前記複数の伝送経路のうち、少なくとも１つの前記伝送経路を特定する経路特定手段と、をさらに備える、
請求項１から請求項３の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記経路特定手段により特定された前記伝送経路を通じて受信した前記コンテンツを、外部に送信する第１送信手段と、をさらに備える、
請求項４に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記評価手段が評価した内容に基づいて、前記伝送経路の不具合の原因を特定する原因特定手段と、
前記原因特定手段により特定された前記原因を出力する出力手段と、をさらに備える、
請求項１から請求項５の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項７】

放送予定または放送中のコンテンツの種別に応じてテスト信号を設定する設定手段と、
前記設定手段により設定された前記テスト信号を、複数の伝送経路のうち１つ以上の伝送経路を通じて送信する第２送信手段と、
を備える情報処理装置。
【請求項８】
前記第２送信手段は、前記設定手段により設定された次に放送予定の前記コンテンツに応じた前記テスト信号を前記複数の伝送経路のうち１つ以上の伝送経路を通じて送信する、
請求項７に記載の情報処理装置。
【請求項９】
将来の日時を、日時とコンテンツの種別とを関連付けたコンテンツ情報に照らし合わせて、前記コンテンツの種別を特定する種別特定手段と、をさらに備え、
前記設定手段は、前記種別特定手段により特定された前記コンテンツの種別を、前記コンテンツの種別と前記テスト信号とを関連付けた信号情報に照らし合わせて、前記テスト信号を設定する、
請求項７又は請求項８に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
放送予定または放送中のコンテンツの種別に応じてテスト信号を設定する設定手段と、
前記設定手段により設定された前記テスト信号を、複数の伝送経路のうち１つ以上の伝送経路を通じて送信する第２送信手段と、
前記１つ以上の伝送経路を通じて前記テスト信号を受信する受信手段と、
前記受信手段により受信された前記テスト信号の状態に基づき前記１つ以上の伝送経路の状態を評価する評価手段と、
を備える情報処理システム。